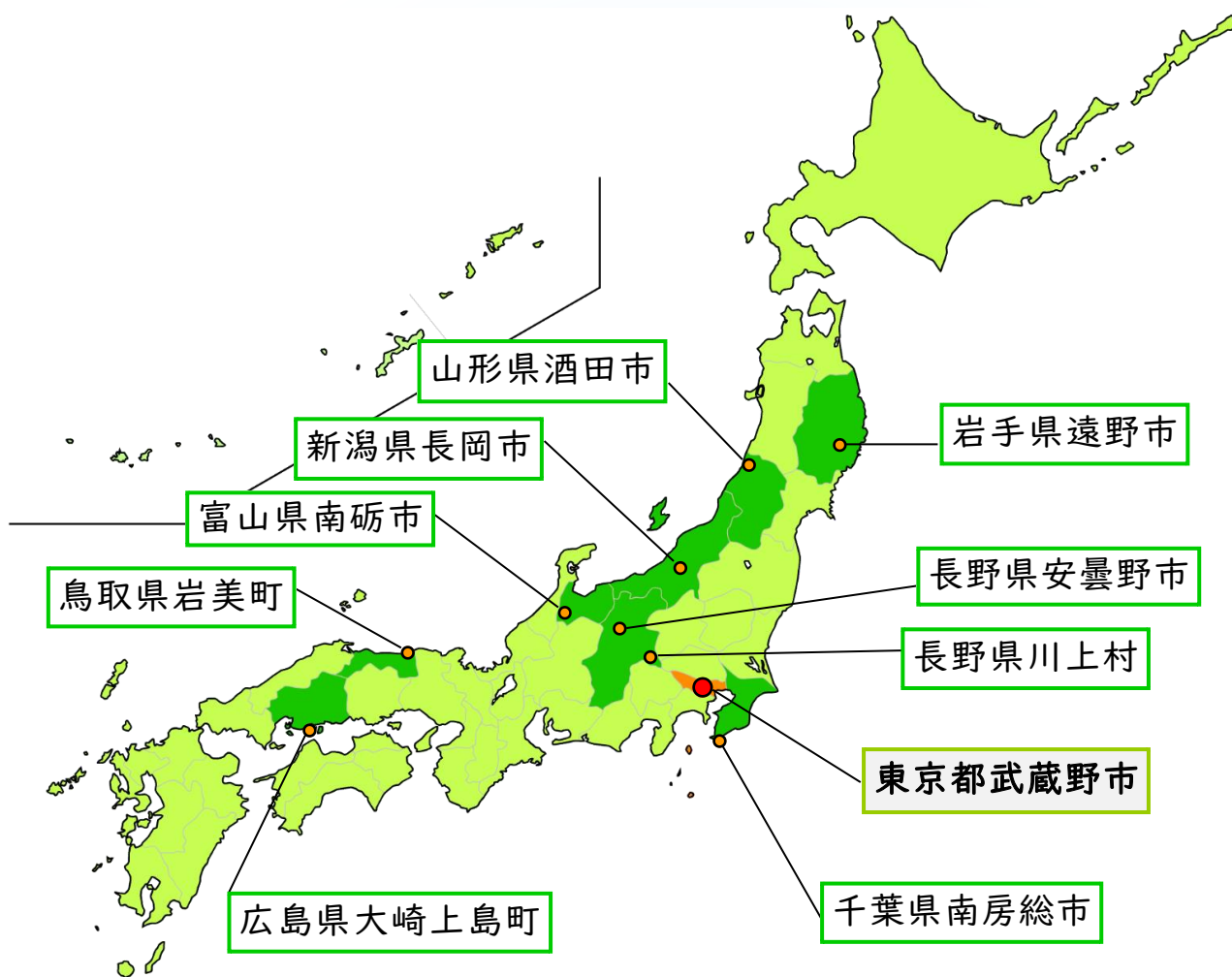


武蔵野市の 交流事業



武蔵野市

国内友好都市

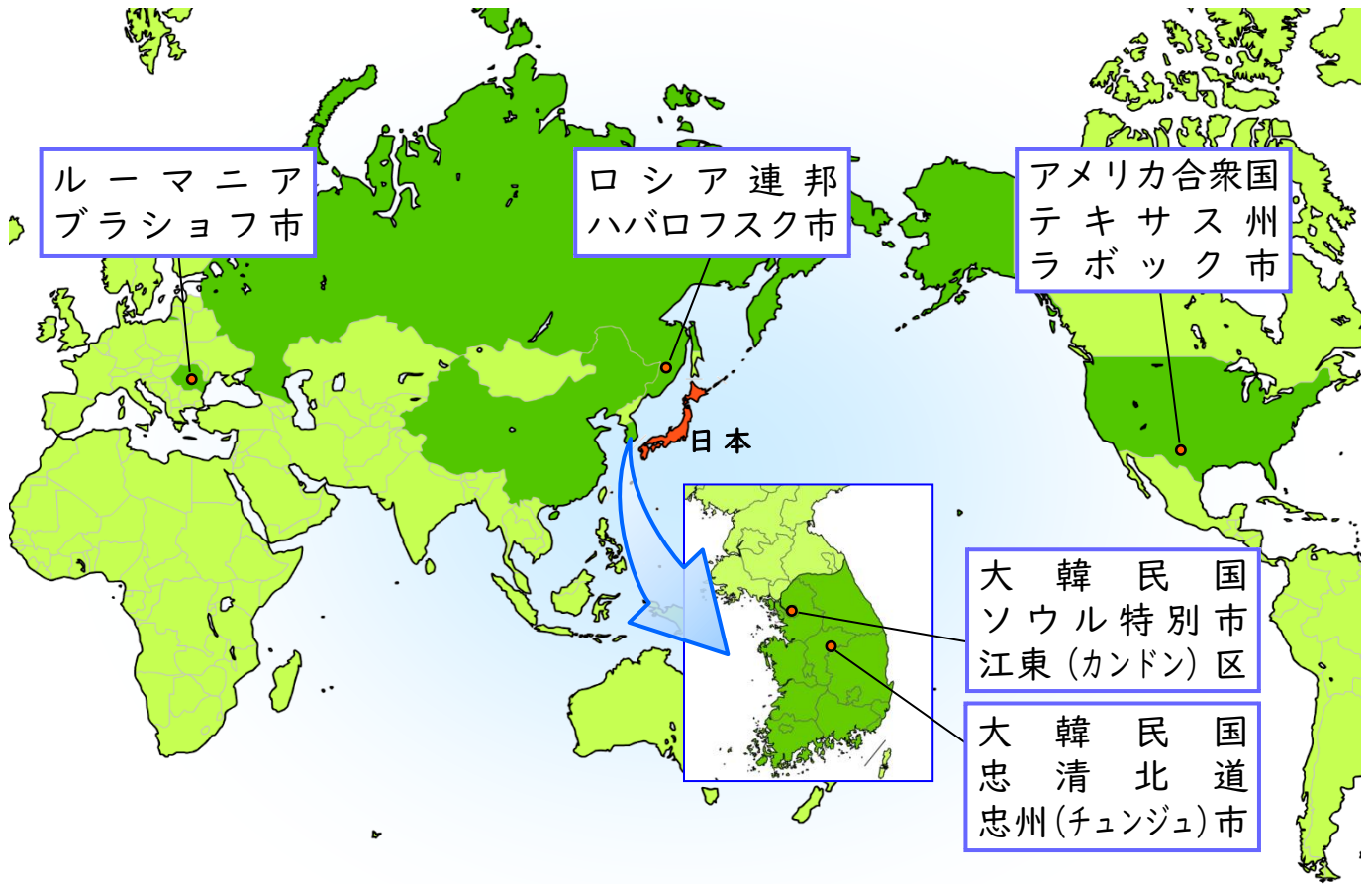


豊かな自然と人情が魅力の、国内9市町村

友好都市	交流開始年	市町村合併	面積	人口 (令和2年国勢調査)
富山県 南砺市	昭和47年(旧利賀村)	平成16年	668.64 km ²	47,937人
長野県 安曇野市	昭和62年(旧豊科町)	平成17年	331.78 km ²	94,222人
長野県 川上村	昭和57年		209.61 km ²	4,344人
千葉県 南房総市	昭和62年(旧白浜町)	平成18年	229.55 km ²	35,831人
岩手県 遠野市	昭和63年	平成17年	825.97 km ²	25,366人
新潟県 長岡市	平成元年(旧小国町)	平成17年	891.05 km ²	266,936人
広島県 大崎上島町	平成2年(旧大崎町)	平成15年	43.11 km ²	7,158人
山形県 酒田市	平成4年	平成17年	602.98 km ²	100,273人
鳥取県 岩美町	平成15年		122.31 km ²	10,799人
(武蔵野市)	*市制施行 昭和22年		10.98 km ²	146,474人



海外友好都市



様々な価値観や文化に出会う、世界5都市

友好都市	交流のきっかけ
アメリカ合衆国 テキサス州 ラボック市	昭和61年 第1回武蔵野市ジュニア大使親善使節団を派遣
ロシア連邦 ハバロフスク市	平成3年 第1回武蔵野市青少年野鳥交流使節団を派遣
ルーマニア ブラショフ市	平成4年 国立ジョルジュ・ディマ交響楽団を支援
大韓民国 忠清北道 忠州市	平成9年 職員派遣研修に関する協定書を締結
大韓民国 ソウル特別市 江東区	平成9年 職員派遣研修に関する協定書を締結

表紙
の
写真

左上：ブラショフ市
左中：長岡市
左下：ラボック市

右上：川上村
中：岩美町
右下：ソウル特別市江東区

右中：遠野市

国内交流事業



武蔵野市は消費生活型の都市として、水や食糧、エネルギー、生活用品などを生産地に依存し、それらを基盤に文化・芸術・情報など、都市の利便性を享受しています。これに対して、生産地である農山漁村は、緑やきれいな空気、地場産品などを作りだしていますが、人口流出と過疎化に悩まされています。

本市では、都会と地方がお互いに失いつつあるものを補い合い、共存していくことを目的として、9つの市町村と友好関係を結び、イベントでの物産販売や、市民交流などを実施しています。また、これら友好都市は、共同生活の中で自然体験をするジャンボリーや、市立小・中学校の授業の一環として実施するセカンドスクールなど、子どもたちが農山漁村の重要な役割について体験して学ぶ場にもなっています。

近年では、災害時の相互支援でも協力していくことを確認しました。

事業名	交流・派遣先	対象	市役所窓口
市民交流ツアー	国内友好都市	市内在住・在学・在勤	多文化共生・交流課
各種宿泊費助成	右ページ右列参照	右ページ右欄参照	
むさしのジャンボリー	長野県川上村	市内在住の小学4～6年生	児童青少年課
親子稲作体験	新潟県長岡市小国町	市内在住・在学・在勤の親子	
遠野市家族ふれあい自然体験	岩手県遠野市		
鳥取県家族ふれあい自然体験	鳥取県岩美町ほか		
セカンドスクール	南砺市、安曇野市他	市立小中学校	指導課
南砺市利賀村訪問・児童来訪	富山県南砺市利賀村	市立小学校5・6年生	

富山県 南砺市



平野部の水田地帯には、美しい散居村の風景が広がり、世界遺産の五箇山合掌造り集落やユネスコ無形文化遺産の城端曳山祭、

利賀の世界演劇祭など、見どころも豊富です。

交流開始から50年を経て、現在は市民交流ツアーやセカンドスクールで交流を深めています。

長野県 川上村



西にハケ岳連峰、東南には秩父多摩甲斐国立公園の名峰が点在します。千曲川の兩岸に広がる耕地ではレタス栽培が盛んで、最

盛期には全国の8割が川上村から出荷されます。

ジャンボリーで子どもたちが訪れる「武蔵野市立自然の村」は川上村にあります。

長野県 安曇野市

平野部から望む北アルプスは絶景です。豊かな湧水を利用したわさび栽培、ニジマス養殖や玉ねぎ・りんごの生産が盛んです。

隔年で実施している市民交流ツアーは、親子で自然を体験できるプログラムです。



千葉県 南房総市

びわの栽培やアワビ・サザエ・房州エビが獲れることで有名で、捕鯨の伝統も残っています。温暖で、1月頃から満開の花畑で彩られます。



隔年で市民交流ツアーを実施するほか、夏休みには民宿利用助成制度もあります。【右参照】

武蔵野市交流市町村協議会

武蔵野市と国内9つの友好都市で構成する協議会で、各市町村長、議長、職員が情報交換や研修会を行っています。平成23年の東日本大震災では呼びかけあって災害支援を行い、同年に、後方支援も視野に入れた災害時の連携・協力を確認しあう「安曇野市サミット宣言」を行いました。

岩手県 遠野市



柳田國男の「遠野物語」で知られる民話のふるさとです。

隔年で夏休みに家族で行く「家族ふれあい自然体験」では、乗馬や農業体験など遠野の大自然を満喫。市民交流ツアーでは、曲り家等を見学し、地元の方々と交流しています。

新潟県 長岡市

日本一の大河・信濃川、守門岳、日本海と、「山・川・海」に囲まれたまちです。



8月の「長岡まつり大花火大会」は長岡空襲からの復興を起源とし、世界平和の祈りが込められています。親子稲作体験を通じて交流しています。

広島県 大崎上島町



大崎上島本島と大小約 20 の島々からなり、本島最高峰の神峰山からは、瀬戸内海が一望できます。

ミカンをはじめとする柑橘類やブルーベリー、イチゴなどの多彩な果物栽培や、近海漁業や造船・海運業が盛んです。隔年で市民交流ツアーを実施しています。

山形県 酒田市

最上川が日本海に注ぐ河口に発達した港町で、江戸時代より北前船交易で育まれた文化が根付いています。

武蔵野市消防団による「酒田の大火」視察から、交流に発展しました。隔年で市民交流ツアーを実施しています。



鳥取県 岩美町



日本海を臨む自然豊かな町です。地質学的に貴重な山陰海岸は、世界ジオパークの認定を受けています。

また、町の中央にある岩井温泉は、1200年の歴史を誇る山陰最古の温泉です。家族ふれあい自然体験を隔年で実施しています。

市民交流ツアー

【実施先】南砺市、安曇野市、南房総市、遠野市、大崎上島町、酒田市

※各都市とも隔年で開催します。

【定員】20名（申込多数の場合は抽選）

【募集】実施1~2か月前に市報・HP等で募集

【問合せ】多文化共生・交流課 Tel:60-1806

市民宿泊助成

以下の施設では、1人1泊3,000円を助成します。

◎富山県南砺市

桜ヶ池カブガーデン Tel:0763-62-8181

五箇山温泉 五箇山荘 Tel:0763-66-2316

IOXヴァルト(コテージ) Tel:0763-55-1969

◎長野県安曇野市

ビレッジ安曇野 Tel:0263-72-8568

ほりでーゆ~四季の郷 Tel:0263-73-8500

ファインビュー室山 Tel:0263-77-7711

◎岩手県遠野市

たかむろ水光園 Tel:0198-62-2834

あえりあ遠野 Tel:0198-60-1700

◎新潟県長岡市

えちご川口ホテルサロラ Tel:0258-89-3000

◎山形県酒田市

湯の台温泉 鳥海山荘 Tel:0234-61-1727

【利用対象】市内在住の方（利用回数制限無し）

【利用方法】直接宿に電話し、「武蔵野市の宿泊助成を利用する」ことを申告して予約。宿泊時に住所を証明できるものをご提示ください。

※各施設では、割引後の金額をお支払いください。

夏季期間中の民宿利用助成

◎千葉県南房総市

夏季契約期間中、宿泊費の一部を助成します。助成額は1人1泊あたり上限2,500円で、期間中1回限り2泊まで。毎年、6月頃に市報・HP等でご案内します。

【制度問合せ】多文化共生・交流課 Tel:60-1806

家族ふれあい自然体験

◆遠野市

家族でホームステイ、乗馬、野山の探検などを体験します。

◆鳥取県

家族での山や海での遊び、田舎暮らし、農業体験、虫取り、海水浴、砂丘探検等。鳥取県との共同企画で、岩美町など数か所で開催します。

【問合せ】児童青少年課 Tel:60-1853



国際交流事業



平和や環境など、地球規模の課題を解決するには、外国との交流などを通じて長期的な視点から友好関係を築き、協力し合うことが大切です。とりわけ次世代を担う青少年にとって、異文化に接したり、地域の国際交流事業に参加したりすることには、大きな意義があります。

本市では、青少年を対象に、外国に赴いて現地の人たちと直接ふれあい、国際理解を相互に深めていくことを目的として、海外の友好都市との交流事業を進めています。

アメリカ合衆国 テキサス州ラボック市



テキサス州の北西部に位置し、綿花・小麦・とうもろこしを産出する農業地帯です。また、テキサス州西部およびニューメキシコ州東部の卸売・小売業の中心地であり、テキサス工科大学を擁する学園都市でもあります。面積は350 km²で、人口は26万人余りです。

市の名前は、南北戦争時代の警察組織テキサス・レンジャーズの一員、トマス・S・ラボック大佐の名前に由来します。1870年代後半に入植が開始され、2009年3月に市政100周年を迎えました。

ラボック市との交流

昭和61(1986)年に第1回ジュニア大使親善使節団を派遣して以来、相互交流を続けています。市内在住の中学生が夏休みの期間中、ラボック市を訪れ、表敬訪問、ホームステイ、野外自然体験などを行っています。

ラボック市からは中学生が6月に武蔵野市を訪問し、学校訪問やホームステイを通じて交流し、友好親善を深めています。



ロシア連邦 ハバロフスク市



ロシア連邦の最東端地域の中心都市で、アムール川の東岸に位置し、首都モスクワから6,000 km以上離れています。面積は386 km²、人口は約60万人です。寒暖の差が激しく、冬と夏の気温差は60度前後もあります。

機械・金属工業や木材業が発達し、シベリア鉄道の重要な拠点でもあります。ハバロフスク市には日本の総領事館が置かれるなど、日本と深いつながりがあります。

ハバロフスク市との交流

ハバロフスク市の野鳥観察グループが武蔵野市の野鳥教室に宛てた手紙がきっかけとなり、平成4(1992)年に青少年相互交流協定を締結しました。派遣と受入を交互に実施しています。

派遣では、キャンプ生活を通じて自然保護の重要性を学び、ホームステイで青少年との友情を育んでいます。ハバロフスク市からの交流団は、施設見学などを通じて日本文化に触れ、日本の青少年と友情を深めています。

(令和6年現在、交流を見合わせています)



中華人民共和国 北京市内の学校との交流 ※平成29(2017)年度まで実施



昭和63(1988)年に第1回武蔵野市青年の翼親善使節団を派遣して以来、北京市友好協会の協力のもと、主に北京市内の学校(月壇中学)との相互交流を平成29(2017)年度まで実施していました。



大韓民国 ソウル特別市江東区

首都ソウル特別市の南東端に位置し、大河「漢江」のほとりにあります。肥沃な土壌は昔から畑作や稲作に利用され、現在は、ビニールハウスを利用した促成栽培地として脚光を浴びています。

市内には旧石器時代の「岩寺洞先史遺跡」があり、10月には「先史文化祭り」が開催されます。

江東区との交流

江東区の区長と職員が視察で来訪したことがきっかけとなり、キムチ作りなどを通して市民間の交流が深まりました。近年は、相互に青少年交流団を派遣し、ホームステイや伝統文化体験などのプログラムを実施しています。



大韓民国 忠清北道忠州市

韓国のほぼ中央、南漢江の上流域に位置します。忠清北道の第2の都市で、古墳群など多くの史跡が点在します。

また、水安保（スアンボ）温泉が有名で、冬はスキー客で賑わうなど、多くの観光客が訪れます。

市の特産品の一つにリンゴがあり、特に忠州リンゴは味と香りに優れていると人気があります。

忠州市との交流



忠州市議会と市職員が視察で来訪したことがきっかけで交流が始まり、両市間で職員の相互派遣を行い交流が深まりました。市民団の相互派遣なども行なわれ、近年は青少年交流を中心とした交流を行っています。

ルーマニア ブラショフ市



ルーマニアの中央、トランシルバニア地方の山間にあり、「黒の教会」や「ブラン城」などが有名で、美しい中世の町並みが残っています。1991年に、国立ジョルジュ・ディマ交響楽団の曾我大介指揮者(当時)から、楽団への支援要請を受けたことで交流が始まりました。

ブラショフ市との交流

ブラショフ市長からの要請により平成10(1998)年に日本武蔵野センターを設立し、日本語教室・書道・華道・茶道・漫画・絵手紙などの日本文化を紹介してきました。令和4(2022)年からは、青少年の相互交流に発展しています。



武蔵野市の青少年海外派遣事業

夏休みに海外友好都市に青少年交流団を派遣し、訪問国の文化・自然体験やホームステイを体験します。

訪問地	アメリカ	テキサス州ラボック市
	大韓民国	ソウル特別市江東区
	大韓民国	忠清北道忠州市
日数/定員	ラボック市	8日間/中学生 16名
	江東区	5日間/中高生 12名
	忠州市	5日間/中高生 12名

【担当課】多文化共生・交流課 Tel: 60-1806

ホストファミリーをやってみませんか

海外友好都市から来訪する子どもたちが、日本の家庭生活や日常文化を体験する機会としてホームステイを実施しています。

受入対象	アメリカ	テキサス州ラボック市
	大韓民国	ソウル特別市江東区
	大韓民国	忠清北道忠州市
受入日数	2泊3日(金曜夕方～日曜夜)	
受入人数	1ファミリーにつき原則2名	
謝礼	受入1名につき1万円	

【担当課】多文化共生・交流課 Tel: 60-1806

人と文化の交差点

公益財団法人 武蔵野市国際交流協会(MIA)

MIA は、武蔵野市における国際交流・外国人市民の支援をボランティアの皆さんとともに推進し、多文化共生のまちづくりを行っています。

外国人市民の生活・コミュニケーション支援

- 日本語コース（こどもの教科学習支援を含む）
- 法律・心理の専門家相談（通訳つき）
- 留学生とホームビジットでの交流プログラム
- 生活情報の提供（9言語）

多文化共生の地域づくり

- 外国人による言語・料理などの文化紹介・こども国際交流クラブ
- 国際交流・ボランティア活動の推進
- 地域の学校や団体との連携

★活動の主体は外国人を含むボランティアの皆さんです。MIA の活動にご参加ください。

【所在地】武蔵野市境 2-14-1 スイング9階

【開館日】火～土曜 午前9時～午後5時（日・月・祝休館）

【ホームページ】<http://www.mia.gr.jp/>

【電話番号】36-4511



料理講座の様子



アンテナショップ 「麦わら帽子」
(国内友好都市と武蔵野市の物産を販売)

【営業時間】午前10時30分～午後6時30分（年始を除き無休）

【所在地】武蔵野市吉祥寺本町 2-33-1 中道通り商店会内

【電話番号】29-0331 【ホームページ】<https://mugiwaraboushi.main.jp/>



武蔵野桜まつり

毎年、桜の開花時期に開催。友好都市の物産販売、式典やステージイベント、市無形文化財「おさしのばやし」の披露など、多くの人出で賑わいます。

武蔵野市立自然の村

長野県川上村の千曲川源流近く（標高1,520m）に、地元の方の協力を得て武蔵野市が設置した野外活動施設です。宿泊・キャンプ施設、ハイキングコースがあり、自然を身近に楽しむことができます。武蔵野市在住・在学・在勤者のほか、三鷹、小金井、西東京市民も利用できます。自然の村宿泊者を対象にした直行往復バスの運行もしています。詳しくは、武蔵野総合体育館3階の野外活動センターまで。

【電話番号】54-4540（野外活動センター）

【自然の村所在地】長野県南佐久郡川上村

大字川端下 547-1



発行年月

令和6年4月

編集・発行

武蔵野市市民部多文化共生・交流課